

太陽の光で 電気を作る

どんなに節約しても、電気の使用量は、決してゼロにはなりません。節電だけでなく、電気を作り出す太陽光発電について考えます。

節電は大切ですが、毎日の生活にはどうしても電気が必要です。節電には限度があります。

南島原市では、もう一つの

選択肢「太陽光発電」を推進。3月から西有家庁舎の屋根に太陽光パネルを設置し、節電に努めています。

また、一般家庭でも太陽光



太陽光パネルを設置したことで、年間2万キロワット時の発電を行っています。

太陽光発電の施設整備に対する助成制度

国…1kw当たり4.8万円
県…6～7万円(定額)
市…6万円(定額)

※県の助成は、他の省エネ設備の導入が必要です。

太陽光発電の現場から

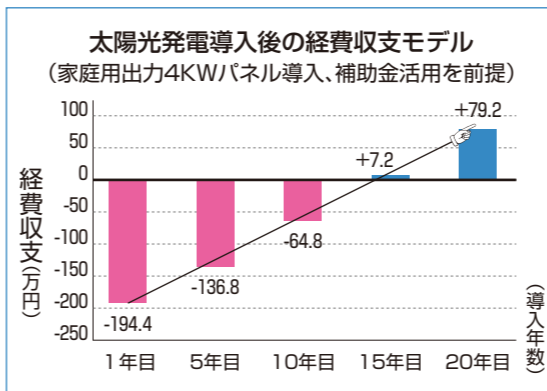
作るから大切さがわかる。

長野保育園

NPO法人「そらべあ基金」から寄附を受け、昨年4月から園舎に太陽光発電設備を設置した長野保育園。1年経過した同園の様子を松本伸生園長に聞きました。「太陽光発電で金銭的に助かることはもちろんですが、実はもっとよいことがあります。子どもたちが電気の発電量などを表示するモニタを見て、『今すぐく発電しているよ』『先生、ちょっと電気使います』と声を掛けてくれます。発電することで逆に節約意識の向上につながっているようです。電気は、『使っている』ことを忘れがちです。そんな中、エネルギーをより身近に感じている園児たちに、頼もしさを感じています」

長野保育園園舎。年間約8千kwhの電気を発電しています。

特集 OFF!! その手でOFF!! 節電に取り組もう。



太陽光発電を導入した場合の損益計算書

※表および分析は、試算です。発電量や使用量は世帯毎に差があります

導入にかかる費用			
項目	金額(円)	備考	
設置費用	2,400,000	600,000円/1kw	
国補助	192,000	48,000円/1kw	
県補助	60,000	定額	
市補助	60,000	定額	
差引負担額①	2,088,000		

年間発電量			
項目	数量(kwh)	備考	
年間	4,400	1,100kwh/1kw	
うち買電	2,539	発電量の57.7%で試算	
うち自家消費	1,861		

発電した電気の換算額			
項目	数量(円)	備考	
買電収入	106,638	年間1w当たり42円	
自家消費賄い分	37,220	年間1w当たり20円	
小計②	143,858		

①/②	14.5
-----	------

出力4キロワットで算出。15年弱で、償還が終了。耐用年数の20年後までに約80万円の黒字が見込まれます。

このようにメリットの多い太陽光発電。今後はさらに導入が進むことが考えられます。ネックとなる導入コストについても、国や県の補助を利用することができると、南島原市では、さらに補助金を上乗せするなど、より取り組みやすい環境を整えています。補助の詳細は、環境課にお問い合わせください。

環境課
☎050(3381)5041

婦人がん検診に行こう。

母親として、妻として、社会人として。とかく女性は忙しいもの。自分の健康が後回しになることも少なくありません。ですが、あなたが忙しいのは、あなたが必要とされているから。忙しい時こそ、健康を考える必要があります。

婦人がんの特効薬

—早期発見—

子宮がん、乳がんは、初期に発見されると完治する可能性が高い反面、ほとんど自覚症状がありません。早期発見のためには、定期的に検診を受けることが大切な病気です。市でも50パーセント以上の受診率を目指していますが、まだ及ばない状況です。

ウイルスが主な原因

—子宮頸がん—

中でも子宮頸がんは、日本では年間1万5千人の女性が発症しています。子宮頸がんの主な原因は、ウイルス感染。昨今ワクチンの予防接種も進んでいます。しかし、長い期間をかけて進行している可能性もあるた

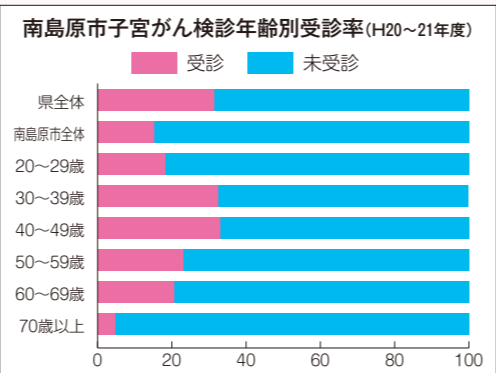


いろいろな場所で意見を聞きました。

め、自覚症状がなくても定期的な検診が必要です。

それでも低い受診率

大学生らが行った調査でも、病気を知らない人はいまいませんでした。ですが、その温度差には大きな開きがありました。40代から50代が、関心のある人が多いものの、グラフからもわかるとおり、20代



50代以降の受診率が低い結果となっています。

平尾さんは「子育て中の人は自分の時間がないという声が多かったですね」と振り返ります。そこで、逆に「子どもが集まるイベントの中で検診を行う」ことを平尾さんは提案。託児の問題が解決しやすく、お母さん同士で問題を共有してもらえらるから、というのがその理由です。

また、市民からは、「受診を忘れてしまつ」という声も多くありました。「なるべく実施日に近くなつてから送付しては(平下さん)」、「記念日に啓発のハガキを送つてみては(木下さん)」などの提

案もありました。

これらについては、現在実行に向け、内部で検討中です。

婦人がん検診は、2年に1度を守ろう

市では、20歳から子宮頸がん検診を、40歳から乳がん検診を実施。2年に1度の継続的な検診を行えるよう、受診券を配布しています。

あなたは、個別検診派? 集団検診派?

検診には、個別検診と集団検診があります。前田さんは、「双方のよさを知ってもらい、自分にあつた検診を受けてもらつたらどうか」と提案しています。あなたは、どちら派ですか?

それぞれの検診のメリット

集団検診	個別検診
<ul style="list-style-type: none"> ● 同じ検診を受ける人が集団で集まるので、不安や悩みなどの共有ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の予定で予約ができる ● 待ち時間が少ない

木下純子さん 鬼塚美香さん 中保遥さん 平尾今日子さん 前田美帆さん 平下菜穂さん

5月16日から26日まで、長崎県立大学シーボルト校看護学科学生6人が、南島原市で地域実習を行いました。実習の中で、市の婦人がん検診の受診率が低いことに疑問を抱いた彼女たち。街へ飛び出し、街頭や育児サークル、幼児の健診などで市民の声を集め、今後の対策を考えました。